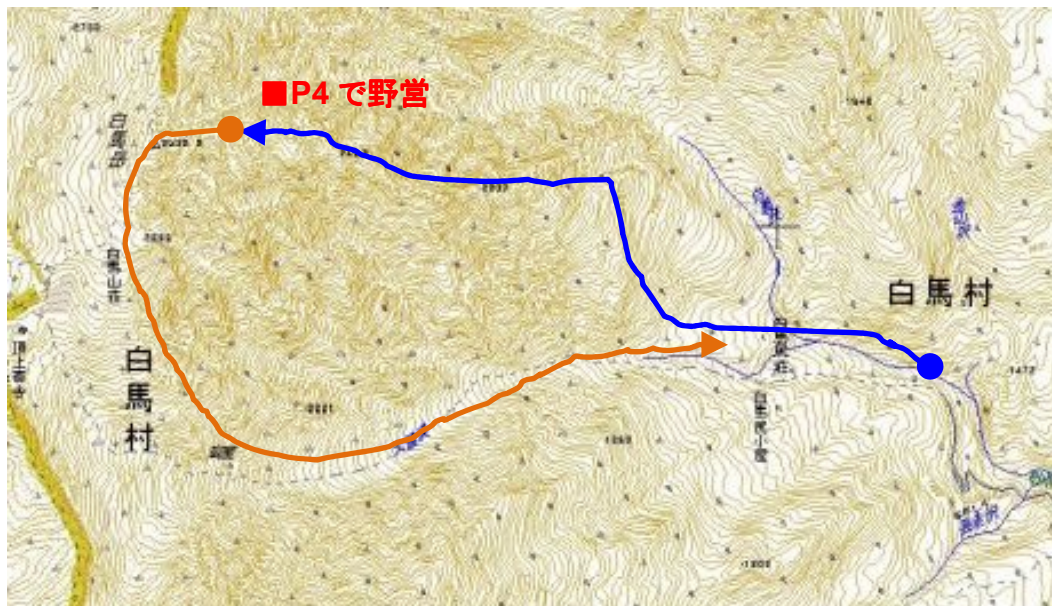


4/28～29 白馬主稜

メンバー：上小牧(L)、亀井(食)、谷内、松村(記)





P4 から主稜線を見下ろす



白馬岳 頂上



大雪溪

■4/27

23:30 に集合。雨。

二股のゲートが空いており、猿倉まで入れる。一面の星空。

■4/28

8:30 発。

快晴、無風。暑い。ずっと日陰無し。地獄。

トレースあり。

亀井は暑さと高山病に苦しむ。

松村は夜遊び疲れ(4/27 に帰国)で苦しむ。行動食の豆が喉を通らない。雪をかじりながら這って登る。

こんな体力では春の北鎌は遠い！

落ちたらヤバいところが3回くらいあった。ロープ出さず。

松村、ついに足がつる。

共装のロープが亀井→松村→上小牧。食糧(朝)が松村→上小牧。

ご迷惑をお掛けしました。

14:30 に P4 にテント張る。

うーん、P1(主稜)は目の前じゃないか。

一方は白馬沢、他方は大雪溪に切れ落ちている。夜中にトイレに出たくない感じ。

夜は男4人しっとりトーク。

上小牧さんと泊まりは初めてだったが、

恋愛観を聞くにつけて「こいつイケメンッ！」(\*大先輩です)と感じる。

亀井さんとイブ錠を分け合って就寝。

■4/29

7:30 発。快晴。

テントの横をぞくぞくと登山者が通り過ぎる。

P1 は「ロープなしで行くか！」と登るが「やっぱ無理ッす」と1ピッチ出す。

上小牧さんリード。

雪はぐずぐず。雪底は工事済。

松村はロープ持ってくるのを忘れたので、オートブロックで登る。

\* いいわけすると、計画書 rev2 が出張中に届いており見落としていました。

一回、足元の雪が崩れて、ちょっと震えました。

8:30 山頂。

登ってきた主稜を見ると壮観。P1 の下は20人くらい渋滞。

山小屋で休憩。9:30 発。

大雪溪の雪は締まっていて、雪崩の心配なく下る。

11:30 猿倉。

■感想

春の白馬主稜は度胸と体力。

松村は完全に準備不足でした。ご迷惑をお掛けしました。

あとは、猿倉まで車に入れるか事前に確認しましょう。時間が全然違う。

準備山行は朝日東南稜でした。3~4時間で登りたい。